

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理					整理番号	439	枝番号		
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	内 4528	昨年度整理番号	453	昨年度枝番号	
係名		管理係					上位施策名		No		
予算事業名		保健所一般事務 杉並保健所維持管理		コード	45150 49250	健康なまちづくりの推進		22			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保健所および保健医療センター利用者				根拠法令等 (1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並保健所設置条例 (3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健所および保健医療センターの、 設備保守管理 備品管理				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設及び環境を安全で快適な状態にする。				
	活動指標名(式)		(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数 (2)				
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		m ²	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426			
	活動指標(2)		件	14	14	14	15	15	27		
	成果指標(1)		件	19		15		19			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	139,277	114,076	86,525	111,223	87,157	102,411	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成11年4月竣工 建物面積は荻窪保 健センターを含む。 事業の性質上、目標 値は設定しない。 平成18年4月組織 改正によりレイアウト 変更。 画像診断システムの 保守委託については、 平成17年度までは事 務事業評価表を別にし ていた(17年度整理番 号442)が、平成18年 度から本評価表に組み 入れた。	
	(内) 投資的経費等		千円	368							
	(内) 委託費		千円	60,761	74,749	54,532	66,857	63,146	65,232		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.43	0.61	0.44	0.61	0.54	0.61		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,913	5,527	3,986	5,527	4,892	5,527		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	143,190	119,603	90,511	116,750	92,049	107,938		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	22,226	18,612	14,085	18,168	14,324	16,797		
	財源	受益者負担分		千円	49	1	87	1	42		1
		国・都等からの支出金		千円	393	480	396	480	338		330
特定財源計 +		千円	442	481	483	481	380	331			
差引: 一般財源 -		千円	142,748	119,122	90,028	116,269	91,669	107,607			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		建物総合管理および機械警備委託(委託等)					契約件数	件	23,555		
		光熱水費(電気・ガス・水道・電話)					使用量	件	17,833		
		機械設備保守点検業務委託(委託等)					契約件数	件	25,369		
		画像診断システムの保守委託(保健予防課)(委託等)					契約件数	件	999		
		その他 (委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)					契約件数	件	19,401		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 439 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	78.4
		画像診断装置回線使用料は情報システム課の回線を利用することにより削減することができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が増大した。 各課の事業の増加により光熱水費など維持運営経費も増加した。 区民の要望を受けて、講堂目的外利用でのAV機器の利便性を高めるため「保健医療センター講堂目的外使用許可基準」を改正した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度と13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となる。平成18年度地域保健課が新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日ババママ学級の委託事業などが始まり、土、日曜日の施設利用頻度は高まってきている。平成19年度より「医療安全相談窓口」の開設をする。電話料金の増加が見込まれる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	平成19年度より「医療安全相談窓口」の開設をする。電話料金の増加が見込まれる。 建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が増大する。 各課の事業の増減により光熱水費など維持運営経費も増減する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:保健衛生行政及び健康都市づくりの核である保健所を利用する区民に対し、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:各事業の利用による負担があるため、当事業の受益者負担は、講堂の目的外利用料のみである。平成15年度から開始し、条例に基づき適正である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容:環境マネジメントプログラムを徹底することにより光熱水費を縮減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:設備点検、清掃、警備等について委託する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予算がつき次第、快適な環境を提供するため、南側のロールカーテンを遮光性の高いものにする。 また、利用者の少ない情報展示コーナーを会議室等に改修するなど、建物の効率的な使用を工夫する。 環境マネジメントシステムの運用を継続して、職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識を向上させる。 CR機器は結核予防対策の一環としてのレントゲン撮影に使用するものであり、結核対策のあり方によって必要な機器が変わればそれに対応する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民間の事業所も混在する複合施設なので、勤務する者の形態が違い、経費節減の目的意識の徹底が難しい。 各課・事業所が実施する事業によって維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。 コンピューター機器であるCRは技術の進歩とそれに伴う低価格化が進んでいるため、適切な時期に更新することによりコストダウンを図る。	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等						整理番号	440	枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先 電話番号	4528	昨年度 整理番号	455	昨年度 枝番号			
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				衛生統計調査		コード	45550	健康なまちづくりの推進		22			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 統計法 (2) 統計報告調整法 (3) 地域保健法					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		厚生労働省で無作為抽出した世帯及び世帯員。出生、死亡、婚姻、離婚、死産届のあったもの。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。		各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させる。							
	活動指標名(式)			(1) 実施調査数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)調査件数 (2)					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		件	7	10	10	7	7	5				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件	17,075	18,000	14,940	15,000	18,072	15,000				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,985	3,248	2,228	2,666	1,967	2,484	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.50	0.52	0.52	0.54	0.54	調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染まない。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,732	4,530	4,711	4,711	4,892	4,892				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	6,717	7,778	6,939	7,377	6,859	7,376				
	単位あたりコスト(-)÷		円	959,571	777,800	693,900	1,053,857	979,857	1,475,200				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	2,169	3,117	2,431	2,533	2,167	2,337			
特定財源計 +		千円	2,169	3,117	2,431	2,533	2,167	2,337					
差引: 一般財源 -		千円	4,548	4,661	4,508	4,844	4,692	5,039					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			中高年の生活に関する縦断調査					72	人	467			
			21世紀成年者縦断調査					53	人	403			
			国民生活基礎調査					360	世帯	358			
			国民健康・栄養調査					41	人	521			
			その他 (人口動態調査)					12,707	件	218			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 440 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	73.8
		予定されていた統計調査が実施された。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	急速な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化している。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報の保護が叫ばれるなか、統計調査に対する不信感、プライバシー侵害の意識が高まっている。				
	今後の予測					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:衛生統計調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:区民への周知方法を検討し、調査票の回収率を向上させる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担は無いため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、区で調査員を委嘱し実施する。統計法、統計法施行例で市区町村長の事務が定められている。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統計調査の協力を得るためには、より多くの区民に調査内容についての周知が必要だが、国勢調査実施時において調査員と称し調査票を不正に回収するという事件もあったため、区民全体への周知は行っていない。区民全体への周知方法を検討するのか、調査該当地域のみの周知方法を検討していくのかを含め、調査票回収率を向上させていくことが急務である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 調査内容があまり知られていないこともあり、不信感やプライバシー保護、防犯意識などにより区民の理解が得られにくい。よって、区民への理解を得るための方策を国の動きも見据えつつ検討していく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度は19年度よりも統計調査数が増となるため。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 献血事業の推進			整理番号	441	枝番号						
担当部課名 杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先 電話番号	4528	昨年度 整理番号	456	昨年度 枝番号			
係名 管理係			上位施策名			No					
予算事業名 保健事業の推進			コード	45750	健康なまちづくりの推進			22			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 16歳～64歳までの区内在住、在勤、在学者。		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 杉並区献血等推進連絡会設置要綱 (3) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区献血等推進連絡会の開催及び運営 献血及び骨髄ドナー登録推進PRポスターの掲示 献血等推進キャンペーンと庁内献血及び骨髄ドナー登録会の実施		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 献血等思想の普及啓発に努め、安定した献血者及び骨髄ドナー登録者の確保を図る。						
	活動指標名(式)		(1) 区内献血者数 (2) 庁内献血実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\frac{\text{区内献血目標(予定)者数と実際に献血した人数の割合(\%)}}{\text{献血者数} \div \text{献血目標(予定)者数} = \text{献血達成率}}$ (2)						
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	人	2,404	5,000	2,318	5,000	1,999	5,000	5,000	40.0	
	活動指標(2)	回	3	3	3	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)	%	48	100	46	100	33	100	100	33.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	88	244	92	267	189	292	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.21	0.20	0.11	0.10	0.22	0.20	成果指標 16年度 ・計画 5,000人 ・実績 2,404人 17年度 ・計画 5,000人 ・実績 2,318人 18年度 ・計画 5,000人 ・実績 1,999人 19年度 ・目標 5,000人 近年、献血者は減少傾向にあるが、今後も目標値を5000人として、献血の推進に努める。	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,911	1,812	997	906	1,993	1,812		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	1,999	2,056	1,089	1,173	2,182	2,104		
	単位あたりコスト(-)÷		円	832	411	470	235	1,092	421		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,999	2,056	1,089	1,173	2,182	2,104			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			普及啓発用献血ポスターの関係機関への送付(2回)				672	件	97		
			献血キャンペーン実施に係るばんそうこう作成				2,000	個	92		
			杉並区献血等推進連絡会の実施				2	回			
			その他 ()						0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 441 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	40.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	70.8
		献血等推進キャンペーン用ばんそうこう作成及び献血ポスターの関係機関への送付(年2回)を計画どおり実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		献血等推進事業については、骨髄バンクドナー登録もあわせて、区の役割を明確にして充実を図っていく。献血等推進キャンペーンを平成18年度に3年ぶりに実施するとともに、健康都市杉並ファロ2006の中でも献血を実施し、献血等の普及啓発を行った。区役所庁内での献血及び骨髄バンクドナー登録会では、平成17年度途中から広報すぎなみや区及び関係団体のホームページでの掲載を行い、広く区民に呼びかけ、実績向上を図っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	献血者は昭和60年をピークに減少傾向にあるが、400ml献血や成分献血の制度施行後は、献血量に大きな減少は見られない。しかし、国内でのクロイツフェルト・ヤコブ病の発生確認により、献血者の減少が懸念され、厚生労働省を中心に献血者の確保対策が進められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	献血者は10代を中心に減少傾向にあり、若年層への献血への普及啓発活動を今後いっそう強化していく必要がある。また、クロイツフェルト・ヤコブ病の発生による献血者の減少を招かないよう、全国的な献血者確保のための施策を講じる必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 献血キャンペーン等、献血推進のためのPRを行っているが、献血者は減少傾向にある。また、献血事業の大半は血液センターを中心として行われており、区が協力して行う献血はごく一部である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 広報の方法を再検討することにより、献血等の実施についてのPRや啓発活動をより広く行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担は発生しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 献血等推進キャンペーンの方法見直し等でコストを削減することが考えられる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 区が行うべき献血等推進の役割を明確にし、東京都献血対策担当、血液センター、骨髄移植推進財団等と協議し、献血者及び骨髄バンクドナー登録者の確保に努めていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 献血事業の大半は血液センターを中心として、区内の日赤奉仕団、企業、学校などの協力のもとに実施されており、区が協力して行う献血の割合はごく一部である。区では、献血や骨髄バンクドナー登録についてキャンペーンの実施や、広報すぎなみやホームページへの掲載、ポスター掲示などの方法により、区民への協力依頼や啓発活動を行うことにより、献血等推進事業を側面から支援していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	杉並区献血等推進連絡会の運営を引き続き行い、献血等推進事業を継続的に支援していく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		薬物乱用防止推進のための啓発活動					整理番号	442	枝番号					
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528	昨年度整理番号	457	昨年度枝番号				
係名		管理係		上位施策名				No						
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 薬物乱用防止推進杉並地区協議会				根拠法令等		(1) 「ダム、ゼツタイ。」普及運動実施要綱		(2)		(3)	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		厚生労働省等が主催する「ダム、ゼツタイ。」普及運動の実施に伴い、薬物乱用防止のため、薬物乱用防止推進杉並地区協議会が実施する各種啓発活動を支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並地区協議会とともに各種啓発活動を行うことにより、区民等の薬物乱用防止に対する見識を高め、薬物乱用のない社会を築く。					
	活動指標名(式)		(1) 杉並地区協議会との連絡会等開催回数 (2) 区内覚せい剤事犯及び麻薬事犯送致人数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 啓発キャンペーン等実施回数 (2) 薬物乱用防止ポスター・標語応募件数					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)	回	2	3	2	2	2	2	2	100.0				
	活動指標(2)	人	61	55	76	50		45	30	0.0				
	成果指標(1)	回	3	3	3	3	3	3	3	100.0				
	成果指標(2)	件	530	500	462	500	512	500	600	85.3				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15	30	24	79	49	106	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.42	0.40	0.22	0.20	0.22	0.20	活動指標(2)区内覚せい剤事犯及び麻薬事犯送致人数は、警視庁のホームページの実績を記入した。平成18年度実績はまだ公表されていない。平成18年度から活動指標(2)と成果指標(2)を追加した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,822	3,624	1,993	1,812	1,993	1,812					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	3,837	3,654	2,017	1,891	2,042	1,918					
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,918,500	1,218,000	1,008,500	945,500	1,021,000	959,000					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	3,837	3,654	2,017	1,891	2,042	1,918						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		薬物乱用防止推進キャンペーン実施(2回)に係る啓発活動用ポケットティッシュ作成						3,000	個	49				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 442 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	62.0
		啓発活動用ポケットティッシュを区で購入した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度に保健福祉部の重要課題に掲げた「未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」を推進していく中で、区としても啓発活動を主体的に実施するため、個数が不十分であった啓発活動用ポケットティッシュの購入数を増やし、必要数を区で購入することとした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並地区協議会は、昭和50年代半ばの「第2次覚せい剤乱用期」に設立され、薬物等乱用防止の推進に努めてきた。平成10年に「第3次覚せい剤乱用期」の到来が発表されるなど、近年の薬物事犯者が増加傾向にある状況のなか、同協議会の活動がより重要となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	薬物犯罪が巧妙化する中で、犯罪を未然に防ぎ、安全で平和な生活を送れるよう、杉並地区協議会の活動の一層の推進が期待されている。					
	今後の予測	近年、薬物犯罪の巧妙化、潜在化が言われており、引き続き予断を許さない状況である。薬物の乱用防止には、地域に根ざした活動が必要である。今後、よりいっそう関係機関の連携を強化するとともに、杉並地区協議会等による啓発を強力に進めていくことが求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:薬物乱用防止のためには、医療、教育、警察等の各分野での取り組みが求められており、区が行う啓発活動も必要な取り組みの一つである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民への広報活動の強化を図り、薬物乱用防止への啓発をより広く行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担には馴染まない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:キャンペーンの実施時期に合わせ、ポスター、リーフレット、配付用ばんそうこうなどが東京都から送付されているので、区が人的支援に純化することは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 同協議会が実施する「駅頭キャンペーン」、「ポスター・標語の募集及び表彰」、「薬物乱用防止のための研修会」において、準備のほか、キャンペーン用ポケットティッシュの作成、キャンペーン参加、ポスター・標語応募者の作品の回収など、事務局として協力している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区と同協議会との役割分担を明確にしながらも、人的支援のみならず、区としての薬物乱用防止策を積極的に展開していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 同協議会との役割分担の明確化を図る。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	杉並区薬物乱用防止推進杉並地区協議会の事務局としての役割を引き続き果たし、薬物乱用防止推進事業を継続的に支援していく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助						整理番号	443	枝番号		
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528	昨年度整理番号	458	昨年度枝番号		
係名		管理係		上位施策名				No				
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進				22		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱 (2) 医療技術研修補助金交付要綱 (3) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。また歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を推進することにより、会員の資質向上を図る。地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。									
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
	(1) 補助金申請数		(1) (代)実施事業件数									
(2)		(2)										
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	7	6	6	6	6	6	6	100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		件	31	31	29	26	30	28	30	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,340	5,340	5,340	5,106	5,106	5,106	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.22	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820	1,812	1,812	1,812	1,993	1,812		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	9,160	7,152	7,152	6,918	7,099	6,918			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,308,571	1,192,000	1,192,000	1,153,000	1,183,167	1,153,000			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	9,160	7,152	7,152	6,918	7,099	6,918				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		区民健康保持事業補助金						3	団体	4,160		
		地域医療連携推進委員会運営補助金						1	団体	594		
		医療技術研修事業補助金						2	団体	352		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 443 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	100.0
		予算額と比較して100%の申請額であり、事業報告も同様である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度補助金適正化審査会において、医師会への補助金のうち、地域保健医療連携推進事業の補助金について縮減の方向で見直すよう指摘があり、旅費(交通費)相当分を削減した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	健康保持事業に対する補助金で開始した。平成2年度から医療技術に対する補助金を、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。平成11年度から3ヵ年、看護学校に対する補助金を除き削減した。平成16年度末の医師会附属看護学校の閉校に伴い、看護学校への補助金を廃止した。平成18年度は医師会への補助金のうち、地域保健医療連携推進事業の補助金について削減した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし					
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 本事業費は補助金という性質上、直接的に成果は見られないが、各師会が行っている事業は区民の健康保持に大きな成果をあげていると考えられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 専門知識を持つ各医療関係団体が対象であるため、他の方法での事業実施は困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 補助金であるため、受益者負担には該当しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 各師会の事業内容の検証・見直しにより、補助金をさらに縮減していくことが考えられるが、見直したばかりであり、当面は現状を維持する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 区民の健康保持のために医師会、歯科医師会、薬剤師会では講演会の開催、パンフレットの作成、相談会などの普及啓発を行っている。また、接骨師会、歯科技工士会では各会員の資質向上のために研修会を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民への普及啓発活動を中心とした健康保持事業や、会員の資質向上を目的とした医療技術研修事業は、直接区が行っているものではなく各団体の事業として行っているため成果が見えにくい。しかし区民の医療意識を高め健康保持を図ること、より技術力の高い治療を受けられる環境を整備していくことは区の責務である。また、地域の医療連携体制を構築することで区内医療機関における対応力の向上が図られる。従って、今後も各団体に対しての補助を継続する。一方で、各団体の事業内容の検証・見直しを継続し、補助金額の削減の可能性を模索していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	各師会がおこなっている事業は区民の健康維持・福祉向上に大きな成果をあげていると考えられるので、縮小・削減予定はない。よって、現状維持である。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区地域保健推進協議会の運営					整理番号	444	枝番号			
担当部課名		杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先電話番号	4528	昨年度整理番号	459	昨年度枝番号		
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		9 年度						
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 施策番号 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 委員対象: 学識経験者、区内各団体の推薦委員、公募委員		(1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区民の健康づくり、地域保健医療計画の推進、保健・医療・福祉の連携、保健所及び保健センターの運営、その他地域保健の推進に関することについての協議を行う。								
	活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体(区民)の代表である委員により、課題等を協議することで区民の健康保持・増進を図る。								
成果指標名(式)			(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 協議会開催回数 (2)									
成果指標名(式)			(1) (代) 協議会(議事)件数 (2)									
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)		回	3	3	2	3	2	3	3	66.7	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		件	16	15	11	15	14	15	15	93.3	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	409	543	312	543	284	543	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.11	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,001	906	997	906	997	906		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	1,410	1,449	1,309	1,449	1,281	1,449			
	単位あたりコスト(-)÷		円	470,000	483,000	654,500	483,000	640,500	483,000			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	1,410	1,449	1,309	1,449	1,281	1,449				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			地域保健推進協議会実施(2回)に係る委員謝礼金					38	人	284		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 444 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	66.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	52.3
		議題の状況を考慮し、協議会の実施を2回とした。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		議題を整理し、協議会の実施時期を調整することで、開催回数を必要最小限にとどめたことで、委員報酬等経費が抑制された。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成9年に保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。平成13年度に同協議会救急医療検討部会を設置し、平成13年度は小児初期救急、平成14年度は区の救命救急について検討した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。				
	今後の予測	杉並区における医療の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 地域保健施策及び保健所の運営について、幅広く区民や関係団体の意見を聴き、区民の健康保持・増進に務めている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 経費は、委員謝礼、事務用品費、通信費のみのため、現状のままである。				
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担は発生しない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 実施回数の見直しによる経費減				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 杉並区地域保健推進協議会は、区内の各団体からの推薦を受けた委員により構成され、十分な協働がなされている。				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」が廃止されたことから、地域保健推進協議会の設置が任意になった。しかしながら、杉並区における地域保健の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続していく必要がある。ただし、開催回数については、議題の状況により、調整することも視野に入れていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 従来どおりの運営となるので、増減は発生しない。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 445 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	0.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	0.0	18年度予算 執行率%	0.0
		前年度末に介護予防相談従事者研修を開催したことで、18年度に開催すべき適当な研修がなかった。また保健所内での日程調整ができず開催が難しかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野が部として統合されたことによる研修の整理統合を図り、また各課の事業の状況等を把握したうえで、より効率的・効果的な企画及び実施のための検討が引き続き必要。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	主として高齢者・障害者分野等の研修を実施してきたが、高齢者分野は介護保険の導入に伴い、介護予防研修の必要性が生じている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護をするための知識や技術の向上、薬物の乱用防止、または生活習慣病予防や自殺対策など、さまざまな角度から保健所としてアプローチしていく必要がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めないことが多いため、多彩な専門職を有する保健所への期待は大きい。					
	今後の予測	保健福祉部他課とも連携を図りつつ、より効果的な研修を実施し、関係団体職員等の資質の向上に取り組む。また保健福祉部として、効率的・効果的な研修の企画及び実施を引き続き検討する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 研修を通じて保健衛生に関する知識を必要とする職員の資質の向上が図られることにより、保健所はもとより高齢者・障害者・児童など関係分野全体の底上げに寄与。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 多くの職員等が研修に参加できるよう他の研修や日程など調整する。また、受講後のフォロー研修などで資質を高めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 専門研修は、保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員の資質の向上を図るために区が行うものであり、受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 研修の企画運営すべての経費で削減の結果である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 研修の講師依頼。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成13年度に保健福祉部が統合されたことにより、それまで各課で行ってきた独自研修を整理統合することによって、効率化を図ってきた。今後も現体系の専門研修を実施する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 研修内容が多岐にわたり、組織間の調整が困難。 部内の各事業を掌握し調整する必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	研修の効率的実施の検討をするとともに、現状の専門研修を継続実施する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			健康都市の推進					整理番号	447	枝番号					
担当部課名			杉並保健所地域保健課		コード	150301	連絡先 電話番号	4528	昨年度 整理番号	462	昨年度 枝番号				
係名			管理係		上位施策名					No					
予算事業名			保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進					22			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	1
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民、健康づくり団体、事業者						(1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (3) 地域保健対策の推進に関する基本的な指針					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			区が区民、関係団体と協働し、イベント(健康都市杉並ファロ・よい歯ファミリーフェスティバル等)を開催する。 ・健康都市指標等を活用した現状・課題の認識を行い、年1回、健康都市白書を発行する。						事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 全ての区民、事業者、行政が、安心して健やかに生活できる「健康都市」の理念を共有し、健康づくりに関する地域のネットワークが整備されている。					
	活動指標名(式)			(1) イベント参加者数 (2) 健康都市白書発行部数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)協賛・協力団体数 (2) よい歯ファミリーフェスティバル表彰家族数					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)		人	4,739	5,000	5,910	5,000	5,144	6,000	6,000	85.7				
	活動指標(2)		部	1,000	700	1,500	1,500	1,200	1,200	1,500	80.0				
	成果指標(1)		団体	33	40	48	50	56	60	60	93.3				
	成果指標(2)		家族	10	25	25	25	25	30	50	50.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,446	4,542	2,806	4,714	4,025	5,787	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円												
	(内) 委託費		千円	3,226	2,956	1,496	2,956	2,686	2,897						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.50	1.90	1.80	1.97	2.41	2.26						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	13,650	17,214	16,308	17,848	21,835	20,476					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	17,096	21,756	19,114	22,562	25,860	26,263						
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,608	4,351	3,234	4,512	5,027	4,377						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	17,096	21,756	19,114	22,562	25,860	26,263							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			生活習慣行動調査					1	回	2,389					
			健康都市白書の発行					1,200	部	574					
			健康都市杉並ファロの開催					1	回	964					
			よい歯ファミリーフェスティバル開催					1	回	98					
			その他 ()							0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 447 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	102.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	80.0	18年度予算 執行率%	85.4
	イベント参加者数については、目標値に到達している。 また、経費の削減についても、概ね達成されている。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり自主グループ等と連携しながら、地域イベントや中央イベントなどファロ事業に取り組んでいる。19年度予算においては、より広範な層に健康都市の理念を伝えるために、講師謝礼の増額を図った。 よい歯ファミリーフェスティバルについては、地域団体相互の協力体制を強化することで、内容の充実を図った。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	健康都市杉並ファロ事業は平成12年度から開催されている。健康都市白書は翌13年度から毎年発行している。中央イベントの実施主管は、保健所 管理課と移って、16年度から再び保健所に移管された。よい歯ファミリーフェスティバルにおいては、区歯科医師会に加え、平成15年より東京都歯科衛生士会、区歯科技工士会を協賛団体として実施している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ファロ事業は、健康づくり地域団体等と比べ、一般区民の中央イベントへの参加が少ない。引き続き、事業内容やPR方法等の改善を進め、一般参加者を増やすことで、健康づくりに繋げていく必要がある。 よい歯ファミリーフェスティバルには、予想を超えた多くの区民が来場し、内容に関する意見・要望も多数寄せられた。
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ファロ事業について、今後は、区民・地域団体が主体となった事業展開を進めていくことが、健康都市の理念普及には効果的である。 健康都市白書は、対象別、健康課題等、杉並区の現状の把握とこれまでの取り組みの評価を行い、今後、健康都市に向けた取り組みの道筋になるような形で継続して発行していく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康都市の理念の共有化を図るなど、健康都市杉並の基盤を整備する事業であり、健康なまちづくりの推進に大きく貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民・地域団体との協働をさらに進めて、区民・地域団体が主体的に事業に取り組める状況を作り出すことが必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:ファロ事業について、今後区民が主体的に事業を実施するにしても、区民に負担を求めることはない。また、健康都市白書についても、受益者負担にはならない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状の経費は、事務運営上必要な経費であり、大幅な削減は困難である。また、生活習慣行動調査についても、調査項目・対象等現行の形態を変えられないので、削減は難しい。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 現在も健康ネットワーク、健康づくり地区会連絡会などの地域団体を始め、多くの共催・協賛団体と協働して事業を進めている。今後は、一般区民も巻き込んで、健康都市杉並の理念を広げていくことが必要である。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康都市杉並を創造するためには、区のあらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れ、より多くの区民・地域団体と連携して、健康づくり活動に継続的に取り組むことが必要である。今後は、区民から意見を公募するなど、より積極的に区民と関わっていくとともに、「杉並ウエストサイズ物語」事業と足並みを揃えながら、健康都市の実現を目指して、健康づくり区民運動を展開していく。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 健康都市の理念がまだ一般に浸透していないことが課題である。健康都市白書の配布など従来の方法に加えて、広報やホームページを活用して、よりわかりやすく理念を継続的にPRしていくことにより、多くの区民が健康都市の理念を共有することが可能となる。		

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 19年度は、実施計画の重点施策でもある「杉並ウエストサイズ物語の推進」をメインテーマに、ファロ事業に取り組んでいく。20年度も引き続き、一般区民の参加促進を図りながら、健康づくりに関連した事業を展開する予定である。よい歯ファミリーフェスティバルにおいても、健康的な生活習慣を定着させる基盤である家族という単位に着目し、区民の意見も取り入れながら、健康都市を実現していく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		喫煙対策の推進					整理番号	453	枝番号			
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150401	連絡先 電話番号	4524	昨年度 整理番号	468	昨年度 枝番号	1	
係名		健康推進係					上位施策名		No			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進		22				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 3 政策番号 5 施策番号 22 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民及び健康増進法第25条に規定する施設				根拠法令等 (1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		たばこ健康に関する正しい知識の普及・啓発のため、ポスター作成及び掲示、外部講師による講演会を実施。また、適切な方法で禁煙・完全分煙を行っている施設を登録・公表し、禁煙・分煙プレート配布する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) たばこ健康に関する正しい知識を普及し、喫煙者を減少させる。また、望まない受動喫煙を防止するために、禁煙・完全分煙している区内の施設を杉並区喫煙対策実施施設として登録・公表することにより、受動喫煙を防止する環境づくりを進める。					
	活動指標名(式)		(1) 喫煙対策実施登録プレート配布数(累積) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 喫煙している人の割合 (2)					
区分		単位	16年度 実績	17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	188	200	245	300	348	500	1,600	21.8	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	28.8	28.0	22.8	22.8	22.8	22.0	20.0	114.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,638	2,162	1,856	1,332	850	1,295	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.82	0.29	0.26	0.35	0.30	0.24			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,462	2,627	2,356	3,171	2,718	2,174		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	9,100	4,789	4,212	4,503	3,568	3,469			
	単位あたりコスト(-)÷		円	48,404	23,945	17,192	15,010	10,253	6,938			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	9,100	4,789	4,212	4,503	3,568	3,469				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		普及啓発用ポスター及びチラシの作成・配布					1,500	枚	300			
		講演会の実施					1	回	40			
		喫煙対策実施登録施設へのプレート印刷・配布					350	枚	492			
		その他 (パンフレット等、消耗品の購入)							18			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 453 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	116.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	63.8
		分煙プレートの作成が予定額より安くできた。予定していた講演会を1回しか実施できなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		飲食店、医療機関、浴場組合、理美容関係への禁煙対策実施登録施設の説明を行い、登録の協力を促した。また、大学と協力し、若い女性に焦点をあてた講演会を実施した。禁煙サポートについては禁煙外来の紹介等の情報提供をおこなった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年の健康増進法施行に従い、公的施設や、医療機関等の分煙化が進みつつあるが、飲食店や娯楽施設の登録店がまだまだ少ない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	公共的施設での望まない受動喫煙を防ぐ取り組みを推進するため、禁煙施設の増加や禁煙エリアの設定等に関する要望は強い。また、一方で喫煙者からは喫煙可能な環境の確保に関する要望もある。				
	今後の予測	今後も社会情勢等から受動喫煙の防止のため、禁煙施設や禁煙エリアの拡大は進むと思われる。それに伴い、喫煙者の立場を考慮に入れた普及・啓発活動や禁煙を望む人に対するサポート対策を進める必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: たばこ・喫煙の問題に様々な視点から取り組むことで、受動喫煙を防止する環境整備や喫煙者を減少させることができ、健康都市の実現に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 禁煙を希望する区民に対して、現在の情報提供のみではなく具体的なサポート方法を検討し実施。また登録施設を増加させるために、実施施設を把握するための調査等の実施が必要。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民に対する普及・啓発や受動喫煙防止の環境整備は受益者負担にならない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担になるものはない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	受動喫煙を防ぐために今後、NPOや企業と協働し、施設の分煙化を推進する。また、禁煙希望者に対し、企業や医療機関と協働し、禁煙サポート教室や禁煙サイト等の利用を行う。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 喫煙対策実施施設の登録については、現状の実施方法では計画数値のとりの増加は難しい。公共的施設の実施状況を把握し、実施施設を積極的に登録し、望まない受動喫煙の防止を図る。また、禁煙希望者に対して、禁煙外来等に関する情報提供を行っているが、今後、NPOや医療機関と協働し禁煙サポート対策を強化する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 禁煙対策実施施設の登録を進めていくためには、たばこの流通・販売業者や喫煙者の理解と協力が必要になる。各部課と連携をとりながら、地域全体に対しての普及・啓発を進める必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	喫煙対策実施施設の登録を積極的に進めるため、公共的施設の分煙化実施状況を把握するため調査を行う。効果的な禁煙サポート対策を行うため実施方法等について検討する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策					整理番号	454	枝番号					
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	468	昨年度枝番号	2			
係名		健康推進係		上位施策名				No						
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		17 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 全区民、とりわけ未成年者とその保護者				(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		喫煙・飲酒・薬物の乱用防止を推進するため、未成年者の喫煙防止ポスター・標語を募集し、ポスターを作成した。また、教育の場で活用できる副読本の作成・配布、自動販売機等に貼るステッカーの作成、併せて防犯パトロールの協力依頼をした。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		学校関係各部署と連携し、未成年者への喫煙防止対策を推進し、喫煙経験を少なくする。他部署や区民との協働で未成年者を取り囲む環境を整備し、未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用を許さないまちづくりを推進する。					
	活動指標名(式)		(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数 (2) 中学生の飲酒・喫煙・薬物に関する調査回答率				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 中学生の喫煙経験がある割合 (2) 中学生の飲酒経験がある割合							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)					計画	実績	計画	実績					
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円				521	4,881	2,267	1,303	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人				0.50	0.55	0.25	0.50	0.25	0.40	0.05	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	4,530	4,983	4,530	3,624	17年度に未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」として「喫煙対策」と事業を分けて実施した。15・16年度実績については、「喫煙対策」事業に計上し、その中で未成年者の喫煙防止策を実施した。中学生の意識調査は隔年実施のため、18年度は実施していない。			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	708	708	142				
	総事業費 ++		千円	0	0	5,051	10,572	7,505	5,069					
	単位あたりコスト(-)÷		円			19,654	39,156	27,694	18,774					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	0	0	5,051	10,572	7,505	5,069						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止ステッカー作成等						5,000	枚	1,074				
		未成年者の喫煙防止ポスター募集及びポスター作成と配布等						4,900	枚	455				
		中学校への指導参考資料及び教材等の配布等						215	部	586				
		未成年の飲酒・喫煙防止に関連した講演会の実施						1	回	150				
		その他 (喫煙対策普及啓発費・消耗品購入)								2				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 454 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.6	18年度予算 執行率%	46.4
		喫煙防止の自動販売機用ステッカーと車両用ステッカーの作成費用が当初予算よりも大幅に安価で抑えることができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		普及啓発として、ポスター及び標語の募集を行った。教育に関する独自の副読本を作成し、教育現場での活用を依頼した。環境整備として商店会連合会との協働により、自動販売機に貼る未成年の喫煙防止ステッカーを作成した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	未成年者に対しては、喫煙だけではなく飲酒や薬物乱用の低年齢化も問題になってきており、業界の自主規制がここ数年大きく進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	17年度に実施した区内中学1,2年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査からは、飲酒・喫煙・薬物乱用防止についての意識は、全国を比較して高い結果となった。飲酒に関する意識は男女差があまりなく、中学3年生においては半数以上に飲酒経験があった。					
	今後の予測	未成年者の喫煙、飲酒の低年齢化は、非行問題だけに留まらず、成長期の子どもの健康に害を及ぼす大きな問題となっている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 児童・生徒・保護者及び学校関係者に普及啓発を行うことで、未成年の防煙に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 学校関係者と連携し、生徒・保護者・関係者に対し、防煙に対する知識の普及を促進する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担となるものはない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 青少年の良好な環境整備の視点からは、商店会連合会と協力し、自動販売機に飲酒・喫煙防止のステッカーを貼付。また、杉並区防犯パトロールや警察署との協力による、地域のパトロールの強化に取り組んでいる。今後は青少年にとっての良好な環境づくりのため、未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーン実施本部のもと、各課・区民と協働しキャンペーンを実施する。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーン実施本部のもと、各課・区民と協働した統一キャンペーンの一部を担当する。当該課は、学校教育の現場において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の視点を取り入れた健康教育が積極的に実施されるよう、教育委員会等と連携し普及啓発を充実させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校教育の現場では、授業カリキュラムに余裕がなく、副読本を配布しても使われない現状がある。ポスターや標語の募集では協力的な学校も多くあるので、今後も教育委員会に協力を仰ぎながら進めていくと共に、社会状況の変化をみながら未成年者の喫煙・飲酒・薬物乱用が防止できる良好な環境づくりの方策を検討することが重要である。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 普及啓発として、ポスター及び標語の募集を行う。中学1年・3年を対象とした意識調査は隔年実施なので、21年度に実施予定。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 健康づくり推進員			整理番号	455	枝番号							
担当部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先 電話番号	4524	昨年度 整理番号	469	昨年度 枝番号				
係名 健康推進係			上位施策名			No						
予算事業名 健康づくりの推進			コード	46550	健康なまちづくりの推進			22				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 健康づくり推進員の健康なまちづくり活動拠点(区内9地区)		(1) 国民の健康・体力増強対策について (2) 国民の健康づくり地方推進事業 (3) 杉並区健康づくり地区会補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		健康づくり地区会ごとに健康づくり推進員が定例会議を通じて地域特性を活かした活動計画を作成する。計画に基づいて、健康情報提供のための講座等を運営し地域住民に参加を促す。また、健康なまちづくりを課題に町会・自治会などの団体との交流や学習会を企画・実施す		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域住民が地域の健康課題の解決に向け主体的に考え行動するための地域拠点としての「健康づくり地区会」が成長発展することで住民主体の健康なまちづくりを推進する。							
	活動指標名(式)		(1) 定例会議開催回数 (2) 地区会事業開催回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 地区会事業参加人数 (2)							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	回	92	90	88	90	83	90	90	92.2		
	活動指標(2)	回	73	45	77	70	80	70	70	114.3		
	成果指標(1)	人	3,972	1,350	3,172	3,200	4,534	3,000	3,000	151.1		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	860	894	852	894	840	894	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.46	3.60	3.60	0.05	3.41	0.05	3.51	0.05	3.52	0.05
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	31,486	32,616	32,616	30,895	31,801	31,891			
		非常勤職員分	千円	0	0	145	142	142	142			
	総事業費 + +	千円	32,346	33,510	33,613	31,931	32,783	32,927				
	単位あたりコスト(-)÷	円	351,587	372,333	381,966	354,789	394,976	365,856				
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	32,346	33,510	33,613	31,931	32,783	32,927				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)						
	健康づくり推進員活動助成			9	地区	765						
	その他 ()					75						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 455 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	92.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	114.3	18年度予算 執行率%	94.0
		健康づくり推進員の研修は、内部講師を活用したため、研修に伴う講師謝礼は執行しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域により活動内容にバラつきはあるが、17年度に比べ事業への参加者数が1,362人(42%)増えている。地域の健康への意識を高めようと取り組んだ結果、徐々にではあるが、推進員の活動が地域に根付いてきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初と比べ推進員の役割への戸惑いがなくなってきているが、保健センターの自主グループの活動と類似した点があり、地域に根ざした推進員の役割を検証する必要がある。又、活動が定着するとともに、より安定して活動ができるように事故が起きた場合の補償の問題への関心も高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保健センターからの情報が町会など地域へ流れやすい点が評価されている。					
	今後の予測	地域に根ざした健康づくり推進員が、地域でのイベントに積極的に関わることにより、地域住民からの推進員への信頼も高まると考える。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康を支えるまちの実現に向け、区民の健康づくりを身近な社会の中で支えていけるよう自主的な地域活動の充実を図る施策に大いに貢献している。地域からの健康都市を発展させている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:健康を支えるまちの実現に向け、区民の健康づくりを身近な社会の中で支えていけるよう自主的な地域活動の充実を図る施策に大いに貢献している。地域からの健康都市を発展させている。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:地域の主体的な活動への助成である。運営方法は、地域住民の決定であり、催しの内容によっては受益者負担を実施している。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:活動助成の補助金は、すべて事業費として使われ、推進員は無料ボランティアとして活動している。現在でも活動費不足への推進員の不満がある中コストは下げられない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 地域への健康都市の実現に向けての普及啓発として、ファロ地域イベントや地域の交流会への企画運営など行政との協働により推進されている。地域のさまざまな団体や企業を巻き込み、自分達の健康を支えるまちの環境や仕組みづくりに向けた合意形成が図れるように、活動を発展させる。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地区会活動を支援し講座の企画や各保健センターで実施する地域イベントにおける地域への健康づくりの普及や地域団体との交流を通じての健康なまちづくりへの話し合いなど、合意形成による健康なまちづくりが少しずつ根付いてきた。こうした活動をさらに各町会ごとに普及し、より多くの区民との協働による健康なまちづくり活動への発展をめざす。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 2年間は推進員の期間であるが、改選にあたっては半数以上の方が再び選ばれる傾向にある。これは継続性においてはよい点であるが、より多くの方が経験することによる地域の人々の意識変化のスピードが遅い面がある。そこで、半数以上の方が新しい推進員となるような工夫が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 新たな活力ある活動がおこなわれるように、保健所と健康づくり推進員との情報の共有化を積極的に行っていく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業						整理番号	456	枝番号	1		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	470	昨年度枝番号			
係名		健康推進係		上位施策名				No					
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進				22			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 健康づくり自主グループ活動を希望する区民				根拠法令等 (1) 地域保健法第6条 (2) 国民健康づくり地方推進事業実施要綱 (3) 地域健康づくり支援事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健センターで行う講座等の修了者に、自主グループ結成を促し健康なまちづくりに向けた自主的な活動が展開できるように育成支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟を目指した支援をすることにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加する。こうした自主グループによるネットワーク活動を推進し健康都市の実現を図る。						
	活動指標名(式)		(1) 新規誕生自主グループ数 (2) 共同事業実施回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自立した(発足後3年経過)健康づくり自主グループ数/平成14年度に誕生したグループ数 (2) ネットワーク交流会参加グループ数 / 支援中の自主グループ数						
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	グループ	17	20	27	20	13	20	10	130.0			
	活動指標(2)	回	25	25	24	25	23	25	25	92.0			
	成果指標(1)	%	32	60	29	60	26	60	60	43.3			
	成果指標(2)	%	104	90	118	90	82	90	90	91.1			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,086	1,647	1,089	1,644	881	1,644	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	5.58	5.37	5.54	0.05	5.38	0.05	5.32	0.25	5.23	0.05
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	50,778	48,652	50,192	48,743	48,199	47,384			
		非常勤職員分		千円	0	0	145	142	708	142			
	総事業費 + +		千円	51,864	50,299	51,426	50,529	49,788	49,170				
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,050,824	2,514,950	1,904,667	2,526,450	3,829,846	2,458,500				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	51,864	50,299	51,426	50,529	49,788	49,170					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		地域団体との共同事業開催(5保健センター)					12	回	573				
		自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)					918	人	224				
		地域活動支援としての講演会開催(5保健センター)					6	回	73				
		その他 ()							11				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 456 枝番号 1

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	65.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	92.0	18年度予算 執行率%	53.6
	企画内容、自主グループ活動内容充実、専門職員での対応等により講師謝礼などの支出を削減きた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	自主グループの増、グループ間交流を活発化することが課題であるが、健康づくりネットワーク定例会において企画案の作成、実施、反省とチェックを行い定例会の活性化を図った。これにより他のグループの状況がわかるとともに、同じ健康づくりということを目指しつつ、相互に健康についての多面的な理解を深めることができたとする声があった。今後はこのような成果を生かして地域における新たな活動へと発展させていく必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	各保健センターの自主グループが毎年誕生、発展させて健康づくり活動を推進してきた。さらに、平成12年に自主グループの各保健センター代表組織「杉並健康ネットワーク」が結成され、地域団体や住民向け講演会等を企画運営し、「健康都市」の実現を目指し活動を展開している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	健康づくり自主グループの活動や保健センターの自主グループへの活動支援について積極的に住民に周知すべき。(定年退職後の地域の健康づくり活動による生涯現役を目指す) 自主グループになっても、活動の場の確保や職員の支援を継続してほしい。				
	今後の予測	自主グループの増加により、地域への健康的な活動の普及や発信を視野に入れたグループ活動への発展が期待される。「杉並健康ネットワーク」活動の充実により、健康なまちづくりへの積極的な取り組みなど協働の対象としての活動がさらに発展する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康づくり自主グループの活動支援から、住民の主体的な活動が発展し、健康なまちづくりに向けた住民参画につながっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容:健康づくり自主グループとの共同事業は、住民企画によるさまざまな場や機会での講座の運営を可能にし、対象を広げることが可能となる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:すでに受益負担を導入しているため				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(へ)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ)	協働等による成果と課題 事業の対象者(健康づくり自主グループ)が協働相手となるように支援している事業である。また、健康づくり事業としての講座の企画及び「健康都市杉並」推進イベント等では、協働が実現している。				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主グループの活動や学習の場を通じて、個人の健康づくりから健康なまちづくりに向けた活動へと、力量向上が図れるよう、必要な情報を積極的に提供するなどの支援を強化する。また、杉並健康ネットワークの活動を通じて、各保健センター間の交流をはかり主体的な健康づくり活動へと発展させる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 自主グループが、地域の課題に取り組むには、課題の発見や解決に向けて、専門的な知識や組織運営の力量が必要とされる。そこで、行政は、専門的な情報を適時に提供していくなどして、健康づくりのボランティア活動の質を高いものにしていく必要がある。また、自主グループから発信されるさまざまな課題を的確に受け止める職員の対応能力を養う必要もある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 予算の執行にあたっては、自主グループなどに係わる人の意識や技術能力を高める工夫を行い、より効果的な地域の健康づくりを支援していく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康なまちづくり(杉並ウエストサイズ物語)				整理番号	456	枝番号	2		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	昨年度枝番号		
係名		健康推進係		上位施策名				No			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進					
事業開始年度		○昭和 ●平成		18年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 内臓脂肪症候群やその予備軍とおもわれる区内在住・在勤者		(1) 健康増進法 (2) (3)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		内臓脂肪症候群予防の普及啓発を行う。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 内臓脂肪の減少に向けて健康的な生活習慣に取組む区民をふやし生活習慣病の罹患割合の減少を図る							
活動指標名(式)		(1) メタボリックシンドロームに関する講座等の受講者数 (2) 杉並ウエストサイズ物語チャレンジャーの参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区民健診において40歳～65歳のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の男性の割合 (2) 区民健診において40歳～65歳のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の女性の割合							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
				計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		人				431	500	500	86.2	
	活動指標(2)		人				272	500	500	54.4	
	成果指標(1)		%			20.67	20.26		19.84	18.60	0.0
	成果指標(2)		%			7.23	7.09		6.94	6.51	0.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円				2,788	500	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円				0	0			
	(内) 委託費		千円				0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人				0.83	0.10	1.00	0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	7,520	9,060	成果指標である区民健診において40歳～65歳メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合(男・女)の18年度指標は19年2月頃に集計結果が出る予定なので空欄とした。	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	283	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	0	10,591	9,560			
	単位あたりコスト(-)÷		円				24,573	19,120			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	10,591	9,560				
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			杉並ウエストサイズ物語(啓発用品及びモニターへの支援等)						2,788		
			その他 ()						0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 456 枝番号 2

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	#DIV/0!	活動指標(2)の 18年度達成率%	#DIV/0!	18年度予算 執行率%	#DIV/0!
		18年度途中からの事業だったが、目標は達成できた。 別途国保会計で、「杉並ウエストサイズ物語」コーナーを区内37箇所を設置した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新たな手法で区民への普及啓発を行う。 別途国保会計で以下の事業を実施する。 ・区民健診者向け普及啓発...チラシ発行枚数を33,000枚から51,000枚に増加する ・チャレンジャーの支援...チャレンジャー通信など支援内容を充実する。 ・ウエストサイズ物語コーナー...16箇所増設する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	内臓脂肪症候群は、メディアなどでも広く取り上げられ関心が高まってきており、内臓脂肪症候群の対策が強く求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	働き盛りの30歳台から50歳台男性がターゲットとなるため、チャレンジャーへの参加などPR方法を検討する必要がある。また、ウエストサイズ物語コーナーのPRと活用方法について検討が必要である。					
	今後の予測	平成20年度の医療制度改革でも内臓脂肪症候群の減少が大きな課題となっており、各自治体においても取り組みが強化されてくる。杉並区においては、先駆的な事業展開をしており、今後はIT等を駆使した新たな事業展開が求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:内臓脂肪症候群対策として、より具体的な取り組みである「杉並ウエストサイズ物語」は、健康都市の実現に向けて貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:更なる普及啓発を推進するために、新たな手法を取り入れる必要がある。 理由または具体的内容:民間企業や事業者、メディアなどを巻き込むとともにITの活用なども取り入れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:内臓脂肪症候群対策として区民への意識付けが事業の中心となるため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容 普及啓発を強化するにあたって、新たな手法(IT等)を取り入れることによりコスト増となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 普及啓発にあたり、企業や事業者、商店会等との協働を推進する。また、スポーツ施設などと協定(協働)を交わし、杉並ウエストサイズ物語の普及に取り組む。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間企業や事業者などへの働きかけを強化し、メディアやITなどを駆使して、ターゲット層に切り込めれば成果は確実に上がる。ターゲット層への具体的な取り組みとしては、運動面や食事面からの支援事業を充実させる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 職員の意識と体勢づくりが必要不可欠である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 内臓脂肪症候群予防の普及啓発の強化を図るため、IT等の新たな手法を用いての事業展開が求められているため、予算の増が見込まれる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定給食施設指導						整理番号	461	枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	475	昨年度枝番号			
係名		健康推進係						上位施策名		健康なまちづくりの推進			
予算事業名		特定給食施設指導		コード	46950	健康なまちづくりの推進				No			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設				根拠法令等		(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		栄養管理が必要な給食施設に対して巡回及び来所指導、提出された栄養管理報告書をもとに喫食者の健康維持増進に向けて必要な指導を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		給食施設等への指導を通じて喫食者の健康の保持増進を図る。各特定給食施設等が健康に配慮した給食の提供と健康情報の提供を行うことで喫食者が主体的に健康づくりを行う知識を習得できる施設になる。				
	活動指標名(式)		(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数 (2) 講習会参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数/栄養報告書提出数 (2) 喫食者に健康教育を実施した施設数/栄養管理報告書提出施設数				
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		施設	63	100	189	100	45	100	100	45.0		
	活動指標(2)		人	152	150	189	150	87	150	150	58.0		
	成果指標(1)		%	76	60	64							
	成果指標(2)		%	71	60	74	70	61	60	70	87.1		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	271	361	269	361	154	360	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.77	0.87	0.27	0.50	0.16	0.55	0.17	0.45	0.21	0.45
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,007	7,882	2,446	1,450	1,540	1,903	成果指標(1)に基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数の割合をあげていたが、食事摂取基準の改正や栄養ケアマネジメントの導入などにより、18年度改正された栄養管理報告書では、利用者の状況把握や個別対応の有無などを確認するものとなり、集団を対象とした基準栄養量から給与栄養量の充足率を求める項目が削除された。このため、成果指標(1)を18年度より削除する。		
		非常勤職員分		千円	0	0	1,445	1,557	1,274	1,274			
	総事業費 ++		千円	7,278	8,243	4,160	3,368	2,968	3,537				
	単位あたりコスト(-)÷		円	115,524	82,430	22,011	33,680	65,956	35,370				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	7,278	8,243	4,160	3,368	2,968	3,537					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			栄養管理者講習会					2	回	67			
			栄養技術講習会					1	回	49			
			巡回指導					5	回	38			
			特定給食施設と協働による区民への健康づくり普及活動					2	回				
			その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

様式 1

整理番号	461	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	45.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	58.0	18年度予算 執行率%	42.7
	栄養管理者講習会のうち1回は、18年度より改正された栄養管理報告書の記載のしかたについて、健康推進課の担当栄養士が説明する形で実施したため、講師謝礼が節減できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	国のしくみの変化に対応し、施設の栄養管理、給食マネジメントのポイントなどの講習会を実施した。また、勉強会など集団給食研究会の主体的な活動の支援、会との協働による一般区民を対象とした健康づくりの普及活動を行った。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	近年、外食利用の増加等により集団給食の役割が変化してきた。給食運営においては、朝食欠食者の増加や嗜好偏重等飽食対策が求められ食教育に重点がおかれ始めた。また、喫食者の健康管理や栄養指導を重視した給食提供へと給食運営の主旨が変更されてきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	介護食の考え方について、やわらかいが噛んで味わう楽しみが得られる調理法や献立について、実演、試食を通して具体的に知ることができた。出席者全員が実習できる講習会を実施して欲しいという要望がある。
	今後の予測	事業所など働き盛り世代に給食を提供する施設では、食事バランスガイドを活用したメタボリックシンドローム対策、児童施設においては食文化や食物の生産や調理を含めた食育の推進、高齢者施設においては介護予防、機能回復にむけた栄養管理、マネジメントを充実させていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 給食を通じて、区民の食習慣改善、生活習慣病予防のきっかけづくりの場として重要である。給食を通じた家庭や地域の健康づくり活動の普及や地域のネットワークづくりを強化することで健康なまちづくり	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:各施設の主体的な活動を、より推進する施設指導を充実させる。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担を導入する性格の事業ではない。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:最低限のコストで事業を行っている。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 区内給食施設の8割が加入する主体的な活動団体である杉並区集団給食研究会との協働により、給食施設の効果的な給食管理や地域の健康づくり活動の普及を行っている。	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の集団給食研究会の主体的な活動によるネットワークを充実させ、施設別の重要課題への対応、地域別の健康づくりの課題などに対応した企画や活動を行い、各々の施設の給食管理による効果をあげる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 給食施設における栄養管理、給食運営のあり方が変化し、栄養管理計画や評価等の事務作業の増加や厳しい従事体制の中で、各施設から講習会や会議への出席が困難な状況がある。勤務時間外の設定や給食管理に即対応できる内容を検討し効果的な活動につなげる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	給食を通じて、喫食者が何をどれだけ食べたらよいか、自分の適量が理解できるような各施設における効果的な食育の方法について検討する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーメニュー推奨店						整理番号	469	枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150401	連絡先 電話番号	4524	昨年度 整理番号	483	昨年度 枝番号			
係名		健康推進係		上位施策名						No			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進				22			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内飲食店、スーパー、コンビニ等及び商店会				根拠法令等						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		「ヘルシーメニュー推奨店」を認証し喫食者の健康に配慮する飲食店を区内に増やす。この取り組みを契機に健康なまちづくり活動を商店会等に展開する。飲食店や栄養アドバイザーの知識・技術の向上に向けての研修や講習会も行う。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		区民の健康的な食の選択を支援する環境が整備される。メタボリックシンドローム予防に向けた食育の情報提供の場となる。飲食店や地域の商店を通じた健康なまちづくりが地域の活性化や健康と思える区民を増やす。				
	活動指標名(式)		(1) ヘルシーメニュー推奨店の認証数 (2) ヘルシーメニュー推奨店への取り組み数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) $\frac{\text{ヘルシーメニュー推奨店になって客が増えた飲食店の率(ヘルシーメニュー推奨店になって客が増えた飲食店/ヘルシーメニュー推奨店)}}{\text{}}$ (2)				
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		店舗	50	60	28	60	31	60	60	51.7		
	活動指標(2)		店舗	63	60	45	60	41	60	60	68.3		
	成果指標(1)		%	65	80	85	80	56	80	80	70.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,359	2,211	1,343	3,228	1,720	3,078	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.92	1.12	1.35	0.25	0.53	0.35	0.46	0.35	0.43	0.35
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,372	10,147	12,231	4,802	4,168	3,896			
		非常勤職員分		千円	0	0	723	991	991	991			
	総事業費 ++		千円	9,731	12,358	14,297	9,021	6,879	7,965				
	単位あたりコスト(-)÷		円	205,967	510,607	150,350	150,350	221,903	132,750				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	9,731	12,358	14,297	9,021	6,879	7,965					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			ヘルシーメニュー推奨店新規認証、再認証にむけたフォローアップのための栄養指導員派遣					51	人	540			
			推奨店対象、栄養指導員対象の栄養指導講習会の開催					5	回	84			
			ヘルシーメニュー推奨店食環境調査、表示メニュー改善					238	人	476			
			その他 ()							620			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 469 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	51.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	68.3	18年度予算 執行率%	53.3
	ヘルシーメニュー推奨店事業開始から5年が経過し、推奨店同士のネットワークづくりや普及啓発活動の展開に力をいれ、アドバイザーの研修、食育に関わる地域のネットワーク活動は十分できなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ヘルシーメニュー推奨店を通じての栄養・健康情報の強化及び顧客満足の視点からの健康的で区民に喜ばれるヘルシーメニュー推奨店に向けて区民調査や表示作成を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ヘルシーメニュー推奨店を毎年増やしその取り組みを契機に商店会との協働による健康なまちづくりを行いながら地域の活性化にもつなげてきた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(客より)・栄養成分表示が食事を選ぶときの参考になる。健康のことは気になるので良い取り組みをしていると感じる。(ヘルシーメニュー推奨店より)・他店の取り組み状況などの情報がほしい。・栄養成分表示をすることによって客とのコミュニケーションが広がった。				
	今後の予測	ヘルシーメニュー推奨店が多数誕生してくるにより、事業への取組みや意欲に差が生じてきた。メタボリックシンドローム予防の食環境の整備を強化する為に実施方法や基準を変え、アワードの仕組みを導入するなどして主体的な健康づくり活動の推進を図る必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康情報が伝わりにくい働き盛り世代が利用する外食やコンビニ等を通じての食育の場として有効である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:食事バランスガイドの普及を拡大する必要がある、飲食店以外の食に関わるスーパーやコンビニ等への働きかけや表示が増える為 理由または具体的内容:飲食店だけでなく健康的な食環境整備に向けて対象施設や基準の変更が必要				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:食育の推進の場としての環境づくりは強化する必要があるため				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施しているため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題:地域のNPOであるため、地域の食環境づくりに熱心に取り組み、住民同士のネットワークづくりをすすめやすい。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ヘルシーメニュー推奨店を段階的に表彰や認証を行うことにより、飲食店間の競争意識や健康的な環境作りへの意欲を喚起し、ヘルシーメニュー推奨店のブランドイメージを高めていく必要がある。そのため、19年度は基準を見直し新たなヘルシーメニュー推奨店事業として改革を行う。また、飲食店に限らずスーパーやコンビニ等、メタボリックシンドローム予防の食育の場と機会を拡大する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 表示等に関わる栄養アドバイザーの数や質の確保	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 メタボリックシンドローム対策としての杉並ウエストサイズ物語の食環境として、食事バランスガイドの普及拡大等食育の強化を図る。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理						整理番号	493	枝番号			
担当部課名		荻窪・高井戸・高円寺・上井草・和泉保健センター				コード		連絡先電話番号	3391-0015	昨年度整理番号	509	昨年度枝番号	
係名		業務係		上位施策名				No					
予算事業名		保健センター維持管理		コード		49450		健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕				(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例						
	活動指標名(式)		(1) 建物面積1㎡ (2) 保守契約委託件数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備する。						
成果指標名(式)		(1) 修繕件数 (2)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		㎡	5,893	5,893	5,893	5,893	5,893	5,893	100.0			
	活動指標(2)		件	43	43	48	47	50	53	50	100.0		
	成果指標(1)		件	59	59	51	52	58	55	55	105.5		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	54,533	62,547	65,741	61,582	56,552	61,283	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円			1,637	1,538	997	828				
	(内)委託費		千円	28,309	30,026	1,637	29,066	27,782	28,847				
	職員数(常勤 非常勤)		人	6.01 0.00	6.01 0.00	6.01 0.00	6.06 0.00	6.06 0.05	6.16 0.05	保健センター面積(単位:㎡) ・荻窪 = 1335.88 ・高井戸 = 1356.74 ・高円寺 = 1764.74 (分室含む) ・上井草 = 815.37 ・和泉 = 620.18			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	54,691	54,451	54,451	54,904	54,904	55,810				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	142	142				
	総事業費 + +		千円	109,224	116,998	120,192	116,486	111,598	117,235				
	単位あたりコスト(-)÷		円	18,535	19,854	20,118	19,506	18,768	19,753				
	財源	受益者負担分		千円	230	229	231	230	238		218		
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	230	229	231	230	238	218					
差引:一般財源 -		千円	108,994	116,769	119,961	116,256	111,360	117,017					
受益者負担比率 ÷		%	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2					
18年度の主な取組み		内 容		規模	単位	事業費(千円)							
		清掃業務請負(委託)		4	式	18,845							
		機械設備保守(委託)		4	式	2,361							
		光熱水費		48	月	12,106							
		修繕費		58	件	3,534							
その他 ()				19,706									

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 493 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	106.4	18年度予算 執行率%	91.8
		委託経費、光熱水費の節減等に努めたが、更なる努力が求められる。また、機械警備委託、胸部X線発生装置・乳幼児身長体重計・多機能心電計・リソグラフの賃貸借契約の長期継続契約を開始した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は、前年度区民要望に応え2階トイレを1箇所ウォシュレット化し、2階男子トイレを同時に改修するとともに、トイレに子供用シートを設置し、安心して親子連れで利用できるようにした。また、講堂授乳室の設置、壁面塗り替え、門扉脇及び土間整備工事を実施した。さらに、センターによっては施設・設備の老朽化が進んでおり、営繕課における中長期的計画により1～2年のうちに空調設備・給排水設備の大規模計画があり、実施条件等の検討が行われた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められている。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期を迎えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事務室が2階にあるところは、長年エレベータの設置要望がある。また、洋式トイレが少なく、増設が望まれている。センターへの施設誘導表示板が古く見にくいので、改善の要望がある。					
	今後の予測	開設当初より、事務室を2階に建築しているセンターは、現在でも妊産婦の利用者や難病を抱えた方、障害のある方などの来所に困難をきたしている。職員が1階受け付けにて対応するなどしているものの、今後の件数増加に際しては早急なエレベーター設置が必要である。一方、第4次行政改革実施プラン提案では、「保健センターのあり方の見直し」として、平成21年度の実施に向け、5保健センターの業務の一部を大規模センター3箇所にするなど、保健センター全体の業務のあり方について検討会を設置し、検討するとしている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由または具体的内容: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民のだれもが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれる。 理由または具体的内容: 誰もが利用しやすい施設にするためにエレベーターの設置やトイレのベビーベッド整備授乳室確保など施設設備の大規模な改修工事が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当であるが、使っていない時間に利用できる会議室の範囲を広めていくことは可能である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 18年度は機械設備保守と清掃業務保守がグループ契約し、コストダウンを図れた。また、「保健センターのあり方の見直し」にあたって、設備機器・医療機器等各種備品の管理等のあり方についても検討していけば、より一層コストを下げる余地はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 専門業者により適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンを図る。また、今後も引き続き、ISO 14001の教育訓練の徹底など、質の向上を行っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに際する安全で快適な保健センター維持管理運営の果たす役割は大きい。特に妊産婦や高齢者、障害者の利用頻度が高いが、荻窪を除き設立年数が古くバリアフリー対応ができていない。今後、エレベーターの設置や段差の解消、施設の老朽化の進んでいるセンターでは大規模な施設の改修等を営繕課と協議しながら改善を図る。また、「保健センターのあり方の見直し」にあたっては、例えば、コストダウンの観点からも設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕のあり方を見直していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難であると思われるが、営繕課調査を通して改革案を働きかけていく。大規模な改修の場合、健診や通常業務の遂行が困難になるので、代替施設の確保等が必要となる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 保守委託契約などについては無駄を省き、より質が高くコストの低い維持管理運営を行う。一方バリアフリー化について所内でできるところから予算化を図るとともに、毎年区民より要望のあるエレベーター設置を営繕課に働きかけていく。	